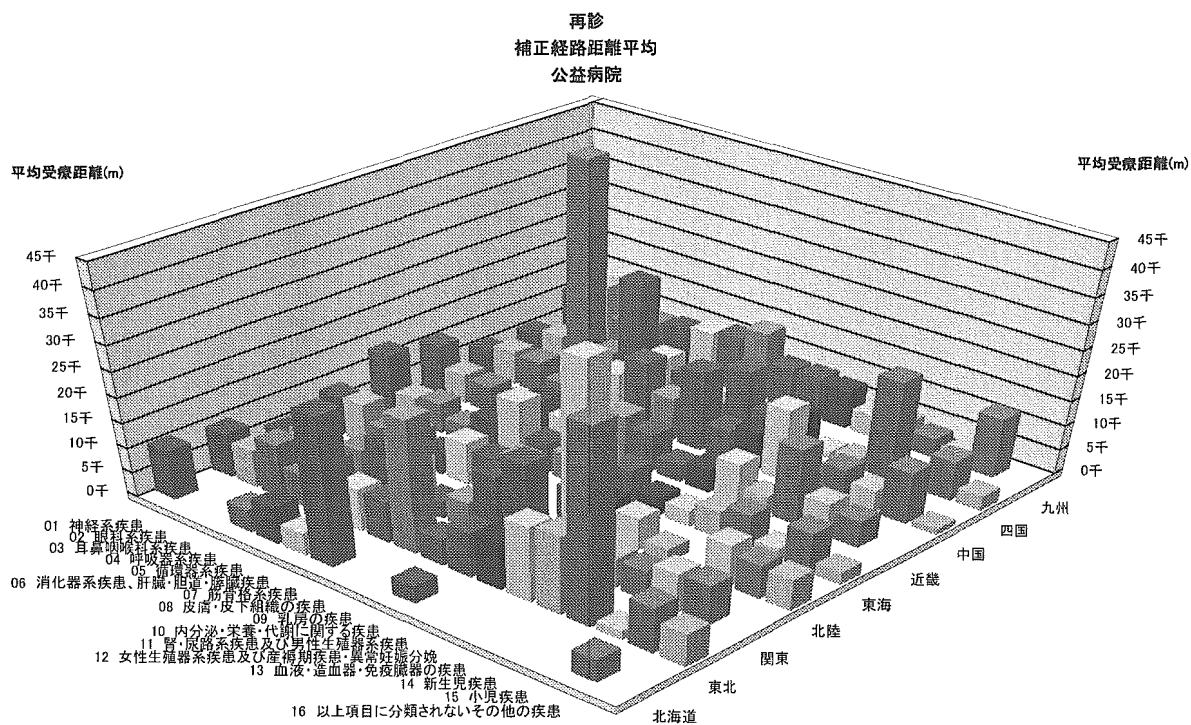
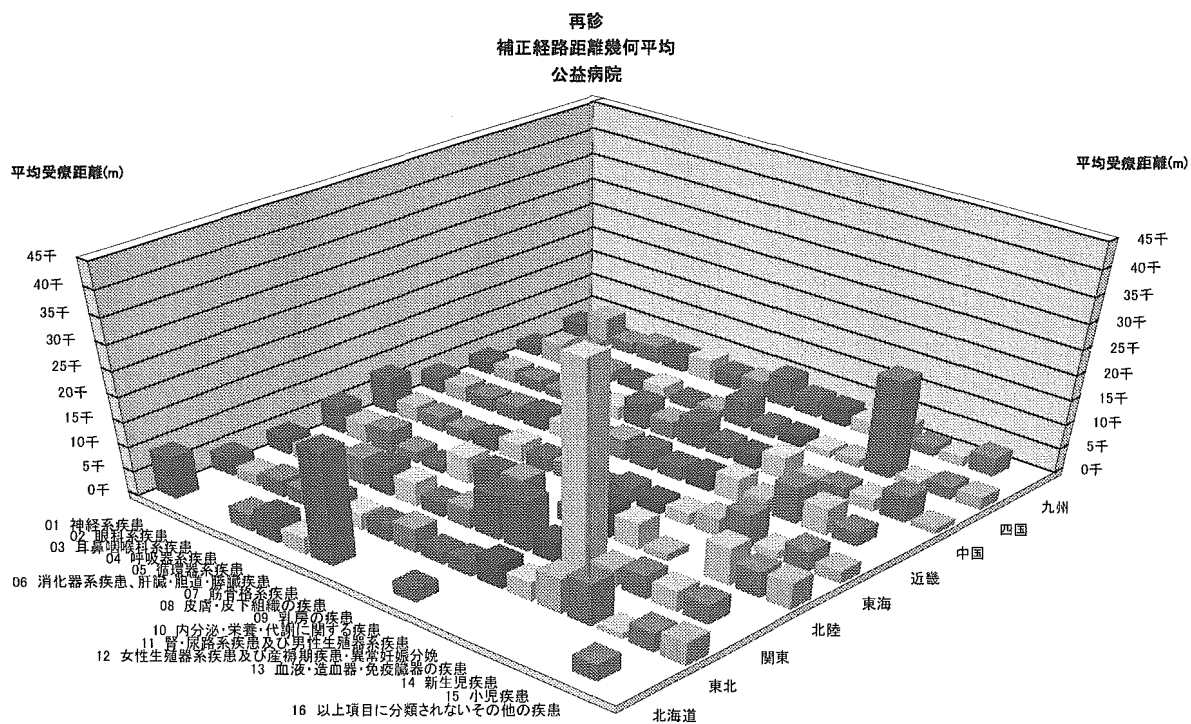


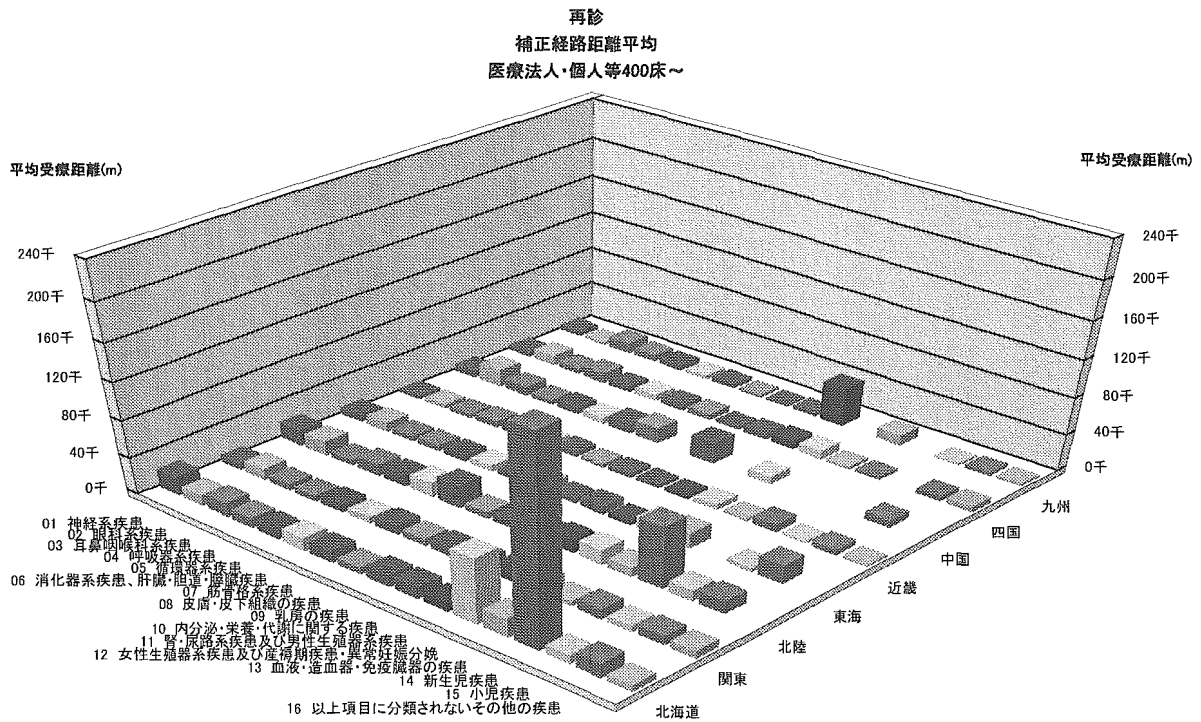
傷病分類別地域別平均受療距離



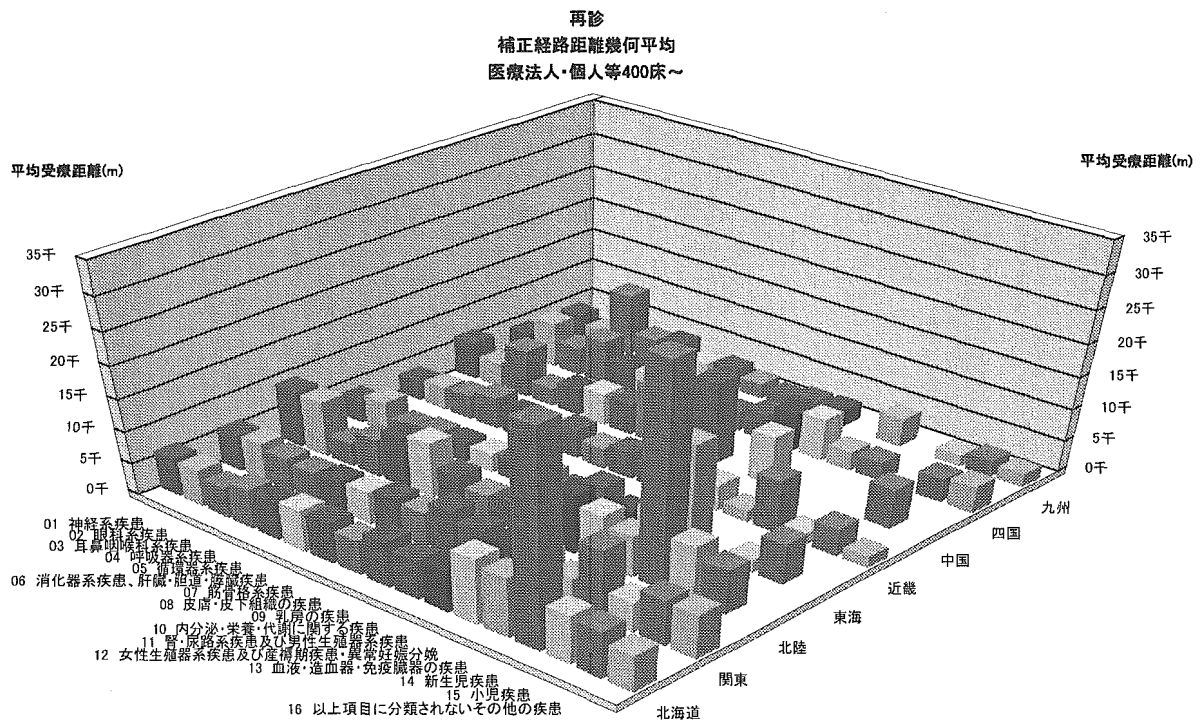
傷病分類別地域別平均受療距離



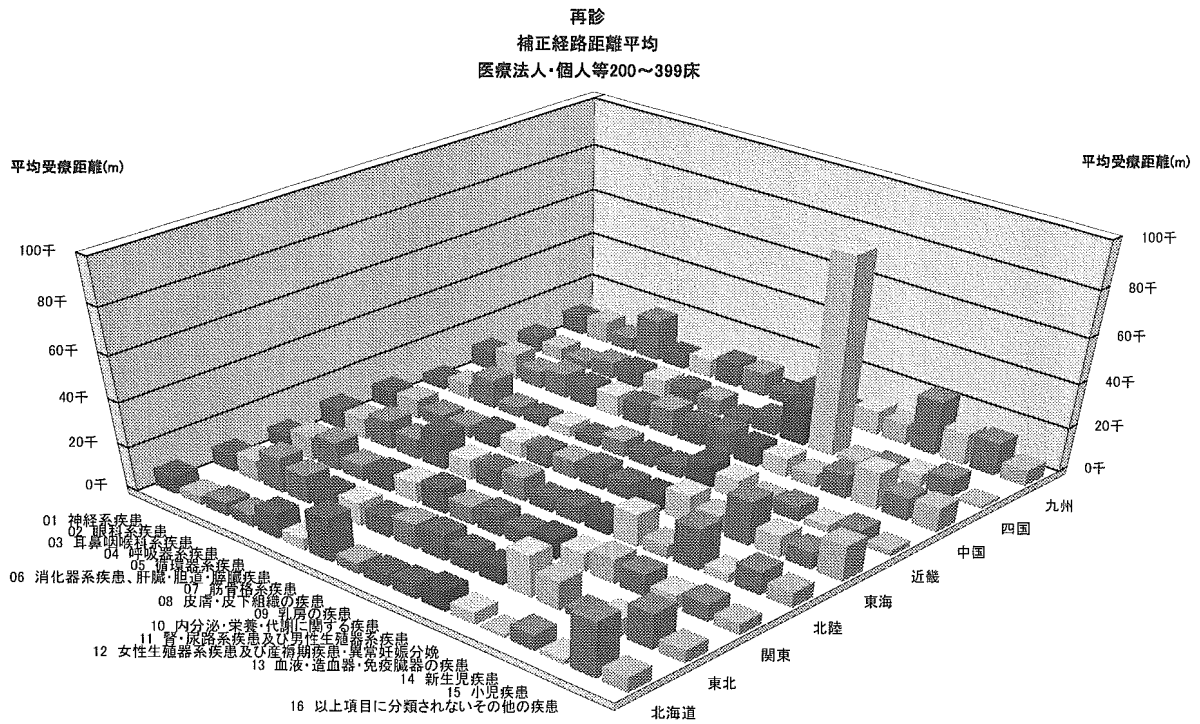
傷病分類別地域別平均受療距離



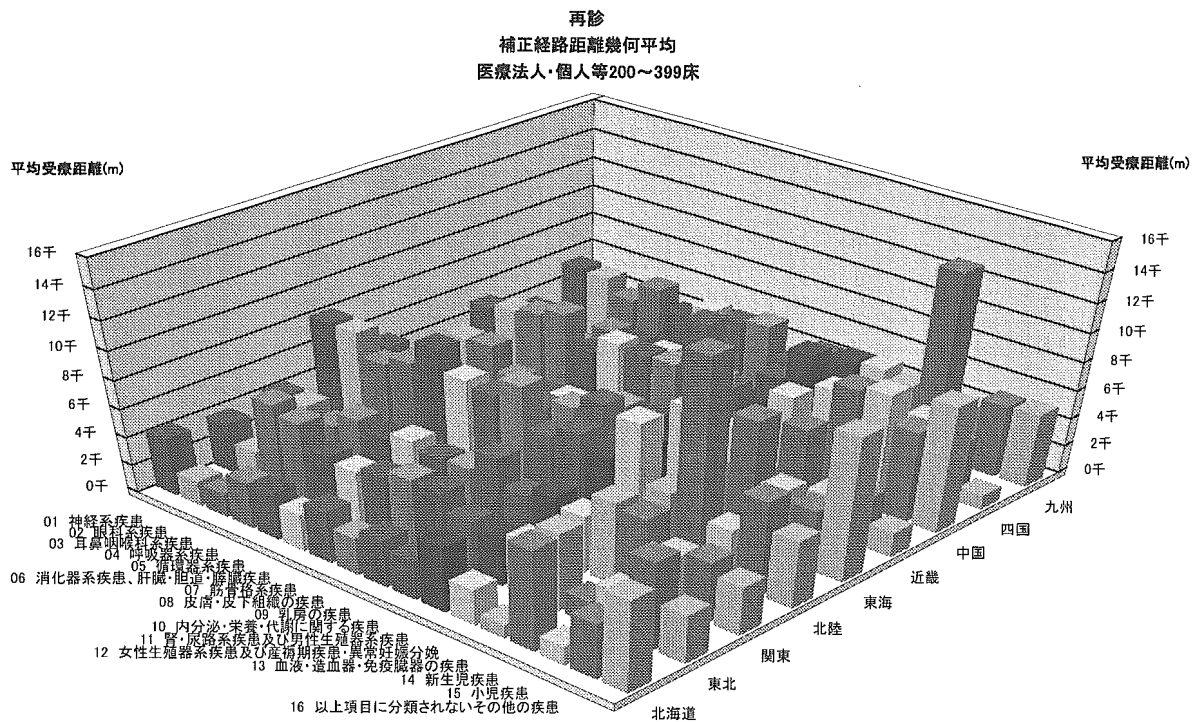
傷病分類別地域別平均受療距離



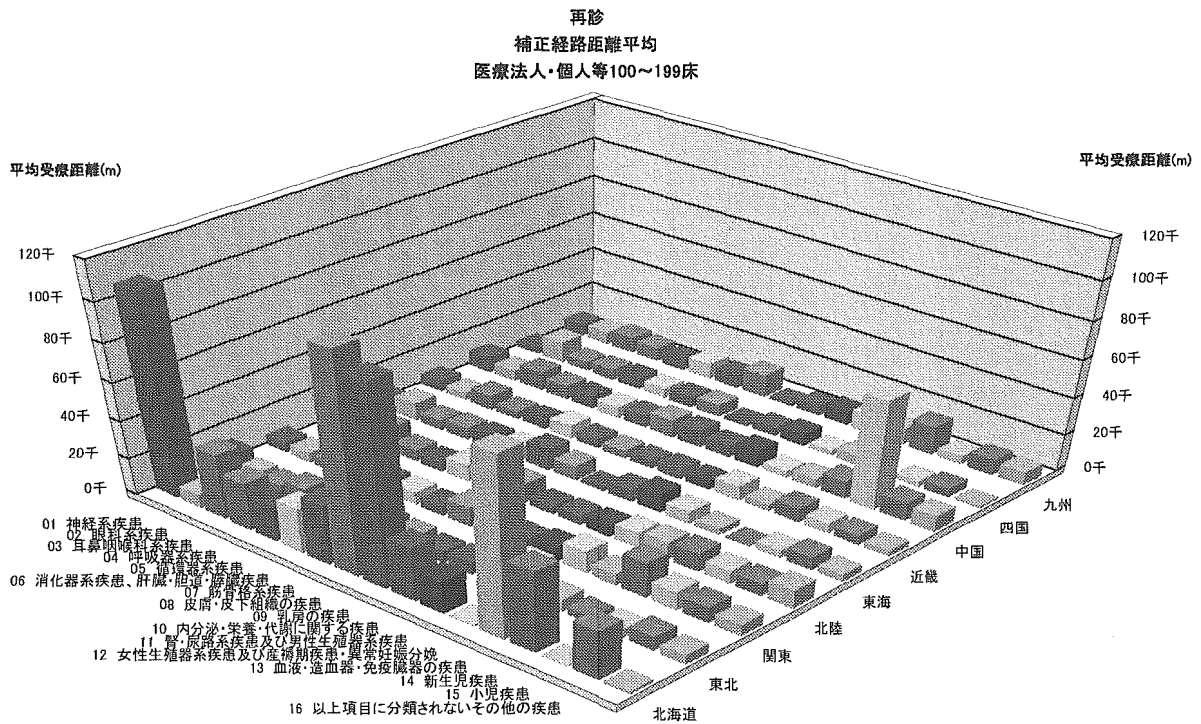
傷病分類別地域別平均受療距離



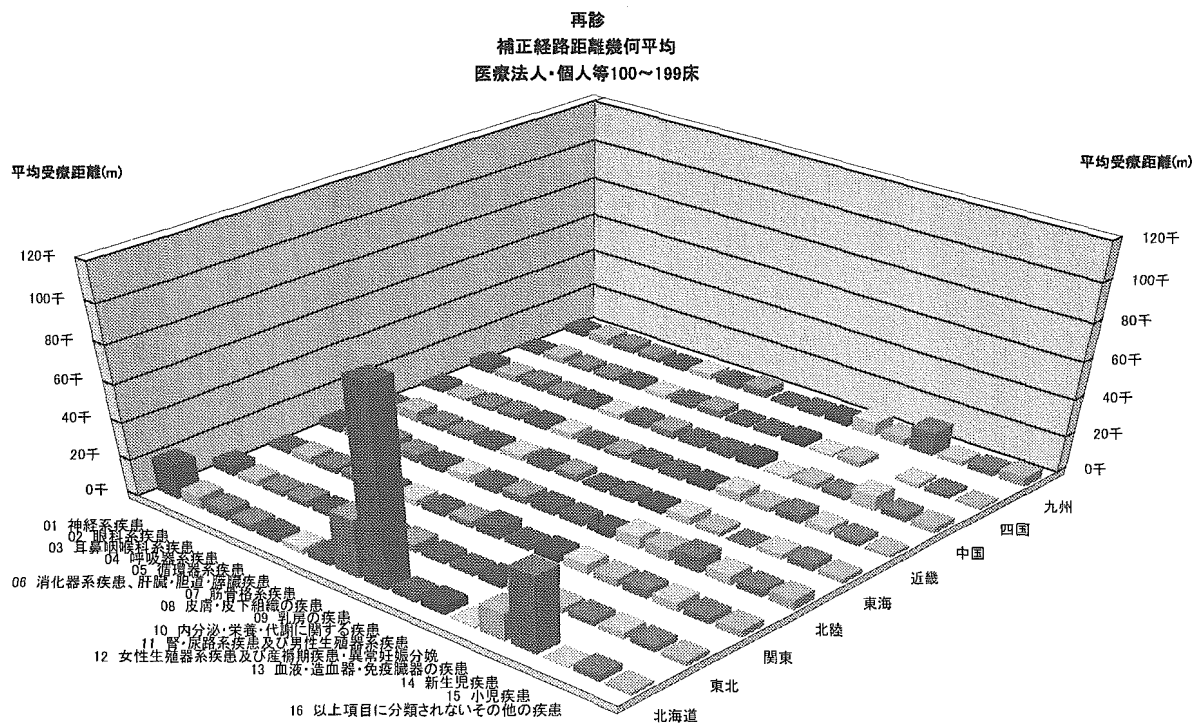
傷病分類別地域別平均受療距離



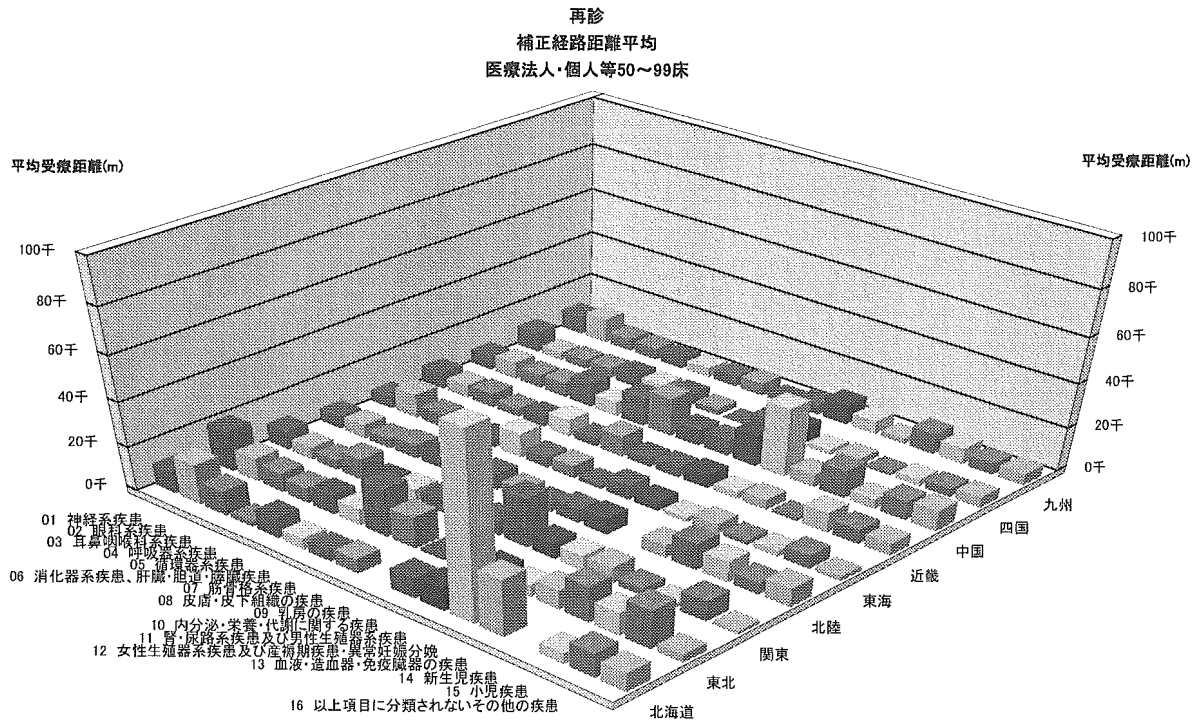
傷病分類別地域別平均受療距離



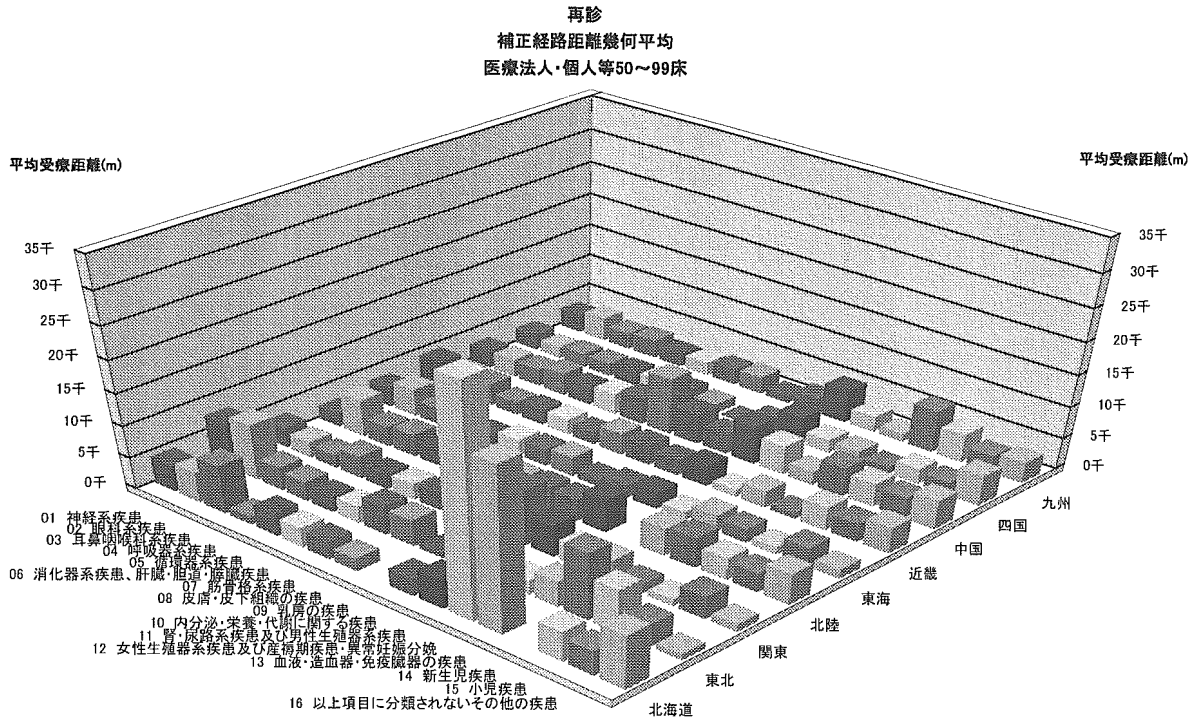
傷病分類別地域別平均受療距離



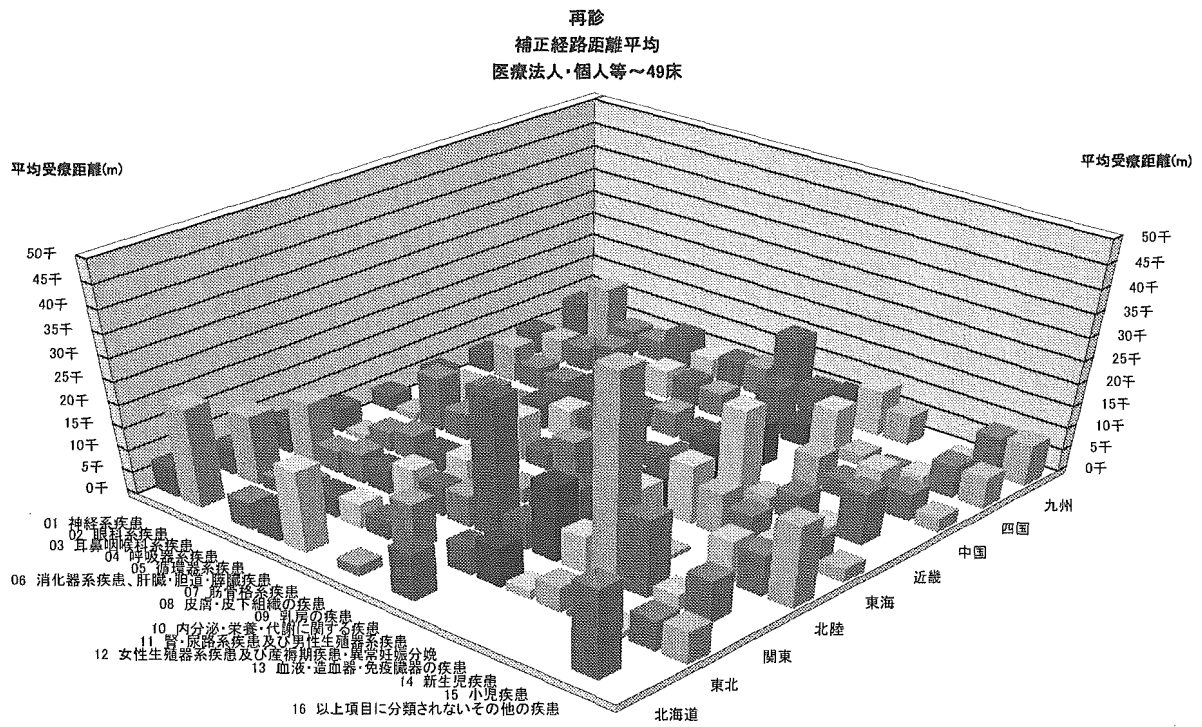
傷病分類別地域別平均受療距離



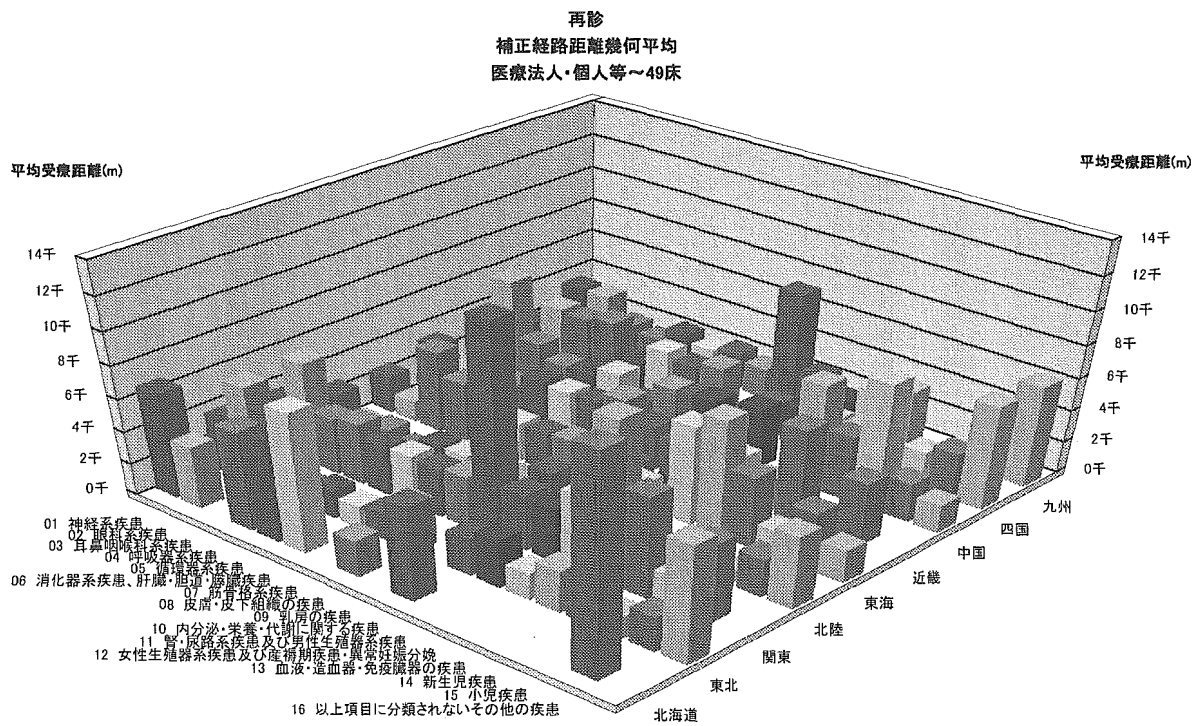
傷病分類別地域別平均受療距離



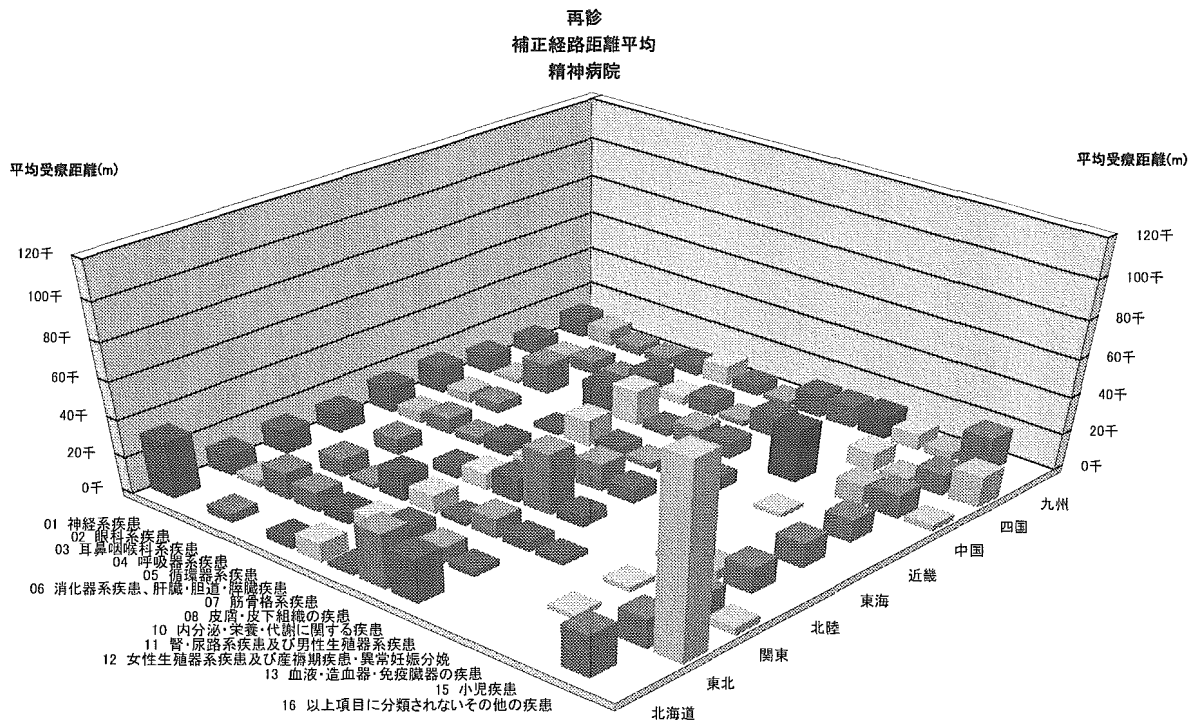
傷病分類別地域別平均受療距離



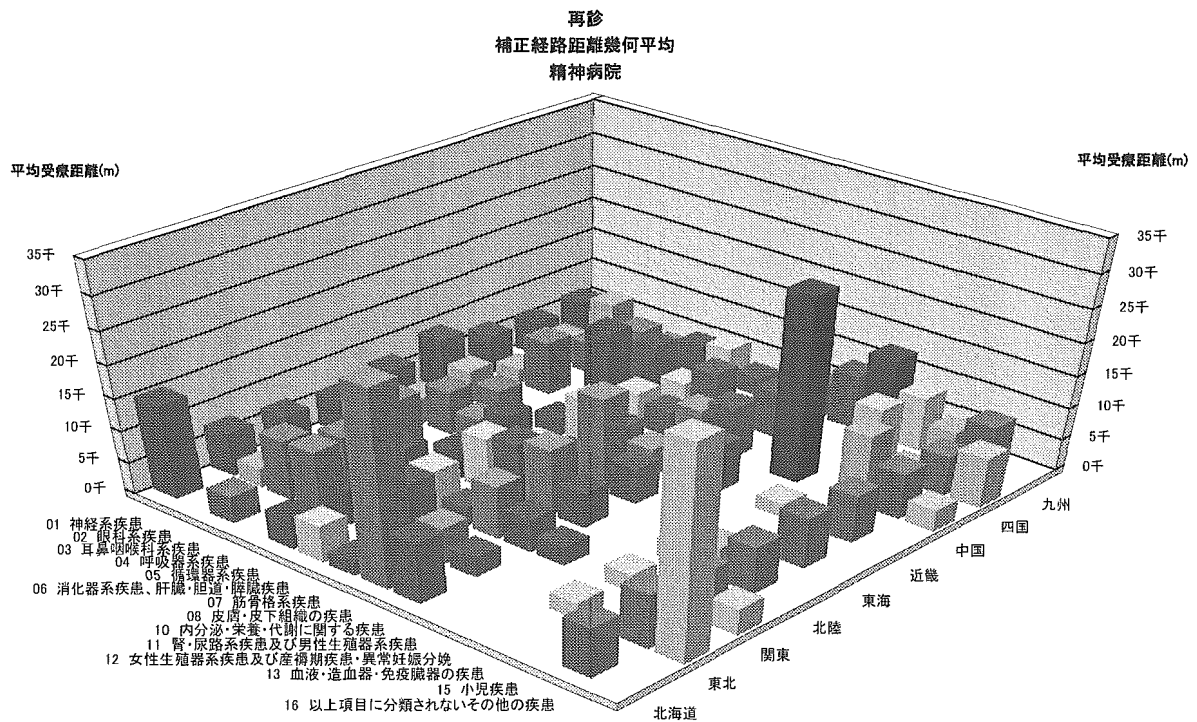
傷病分類別地域別平均受療距離



傷病分類別地域別平均受療距離



傷病分類別地域別平均受療距離



7-4. 医療機関分類別地域別平均受療距離

○チャート様式

形式:	3次元棒グラフ
グループ:	医療機関分類
系列:	9地域
ページ:	MDC 主要疾病分類 x (初診、再診) x (算術平均、幾何平均)

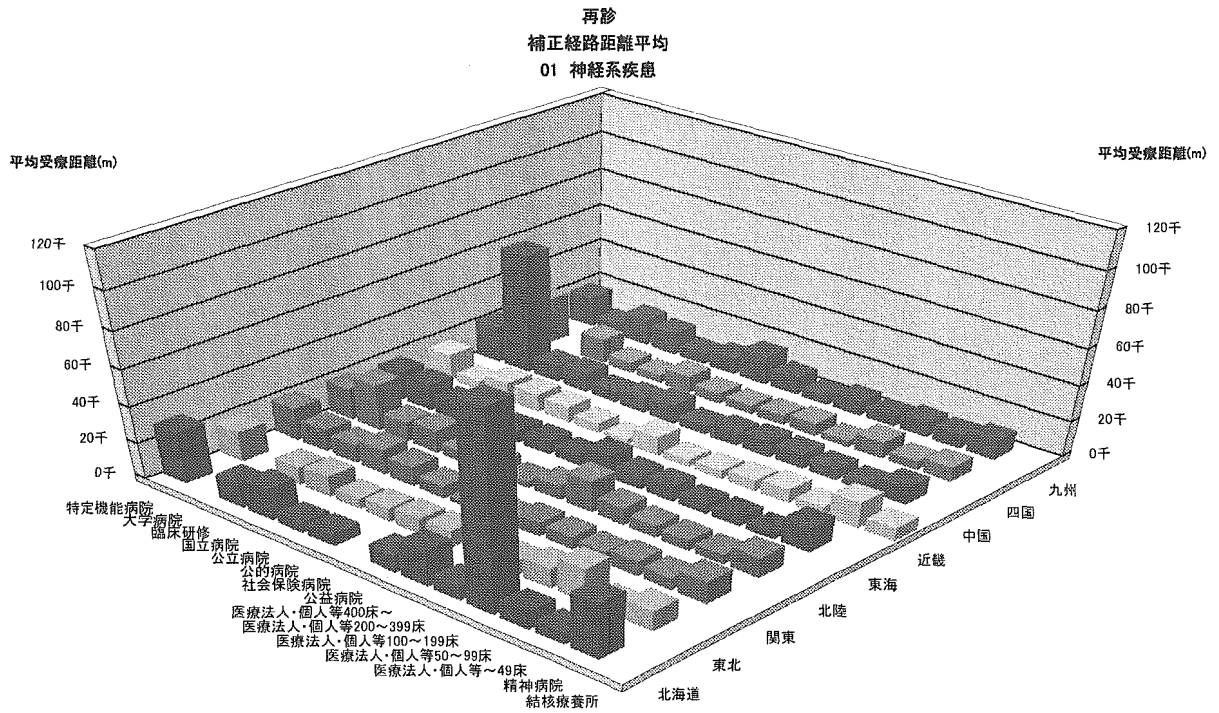
○視点

外来受療距離の地域格差を医療機関機能分類別に分析するためのチャート。

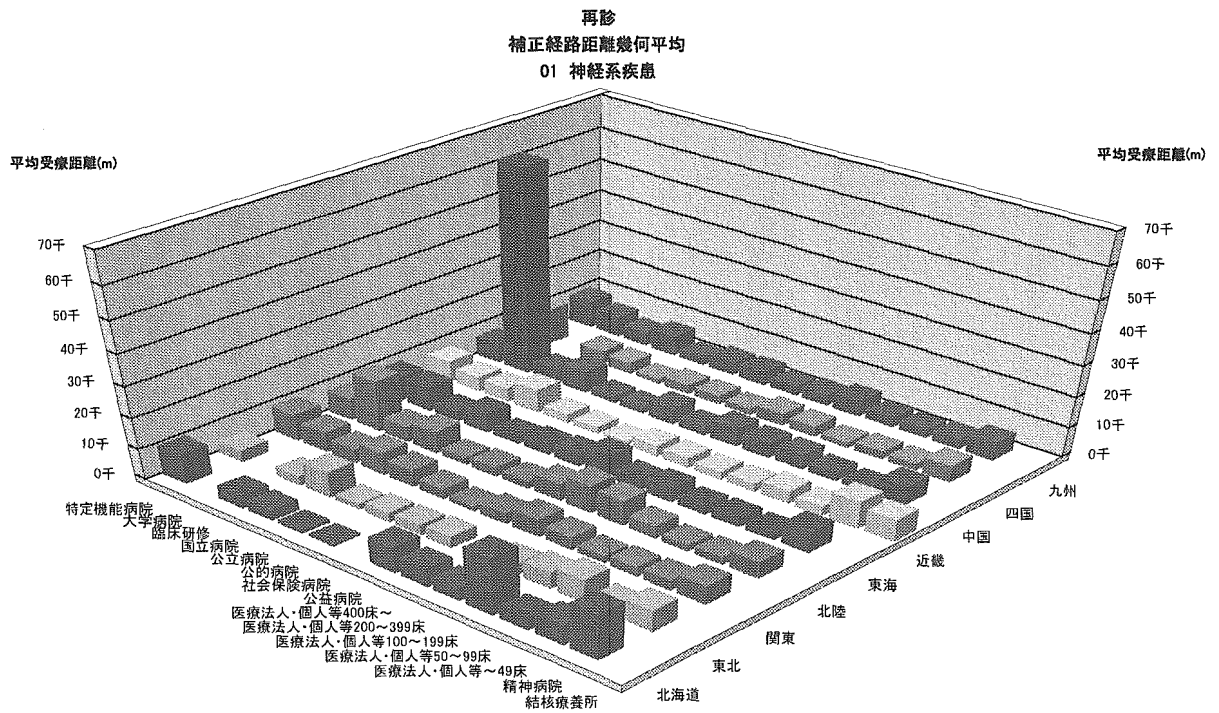
○分析結果の要点

- ・循環器では、教育機関の受療距離が長い傾向にある。
- ・血液疾患では、特定機能病院の受療距離が長い。

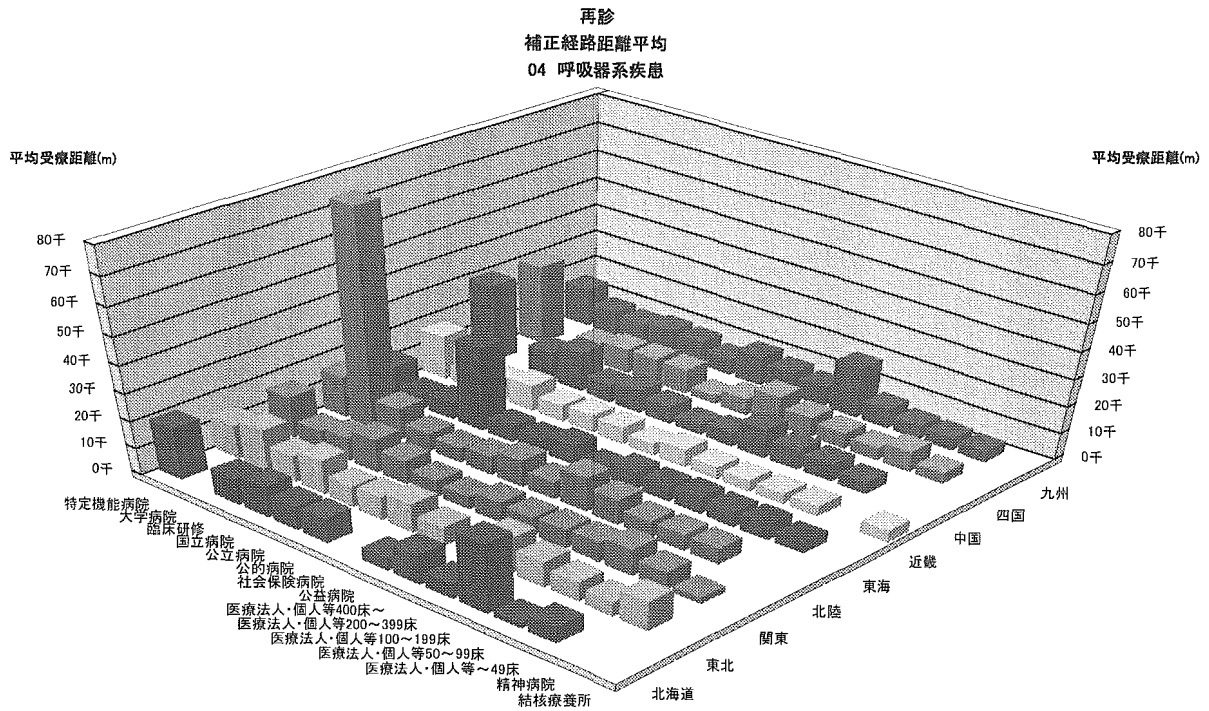
医療機関分類別地域別平均受療距離



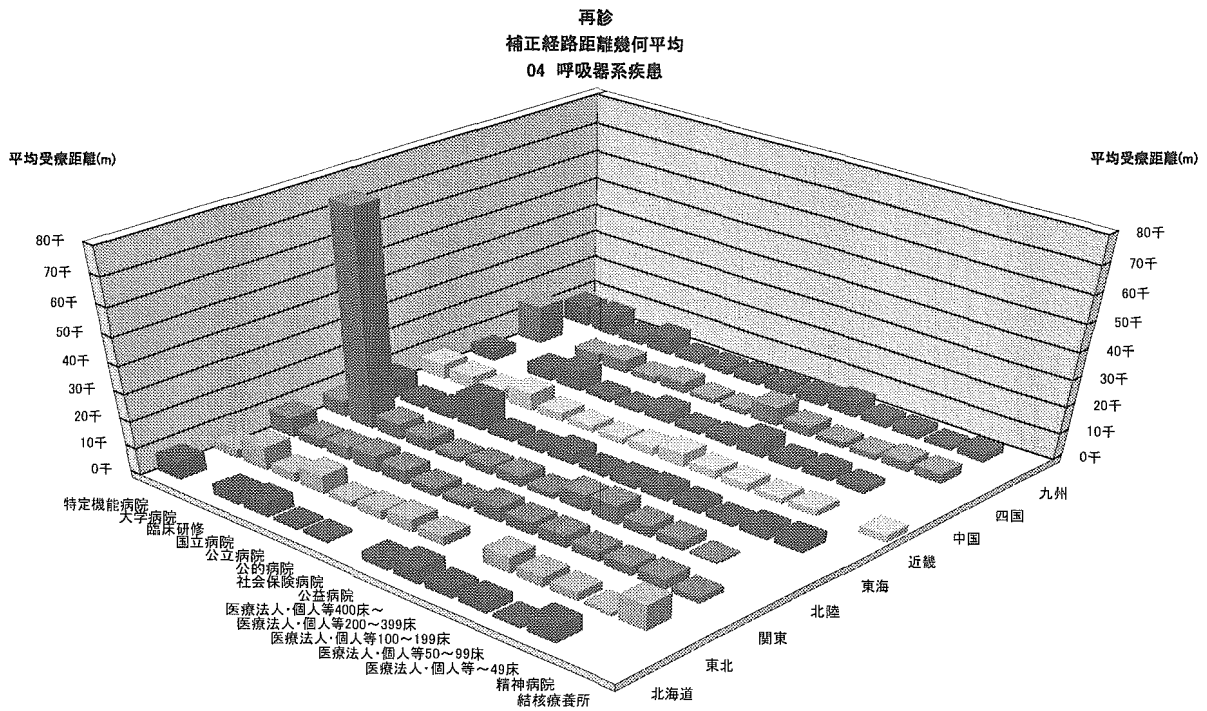
医療機関分類別地域別平均受療距離



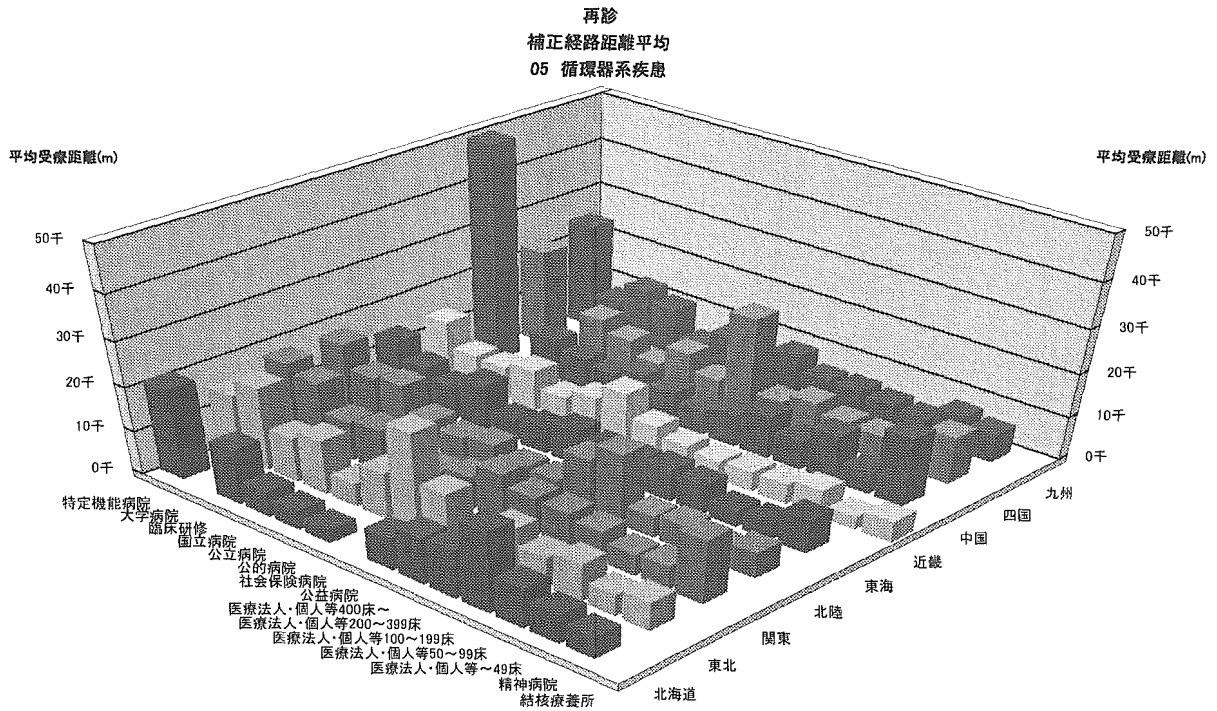
医療機関分類別地域別平均受療距離



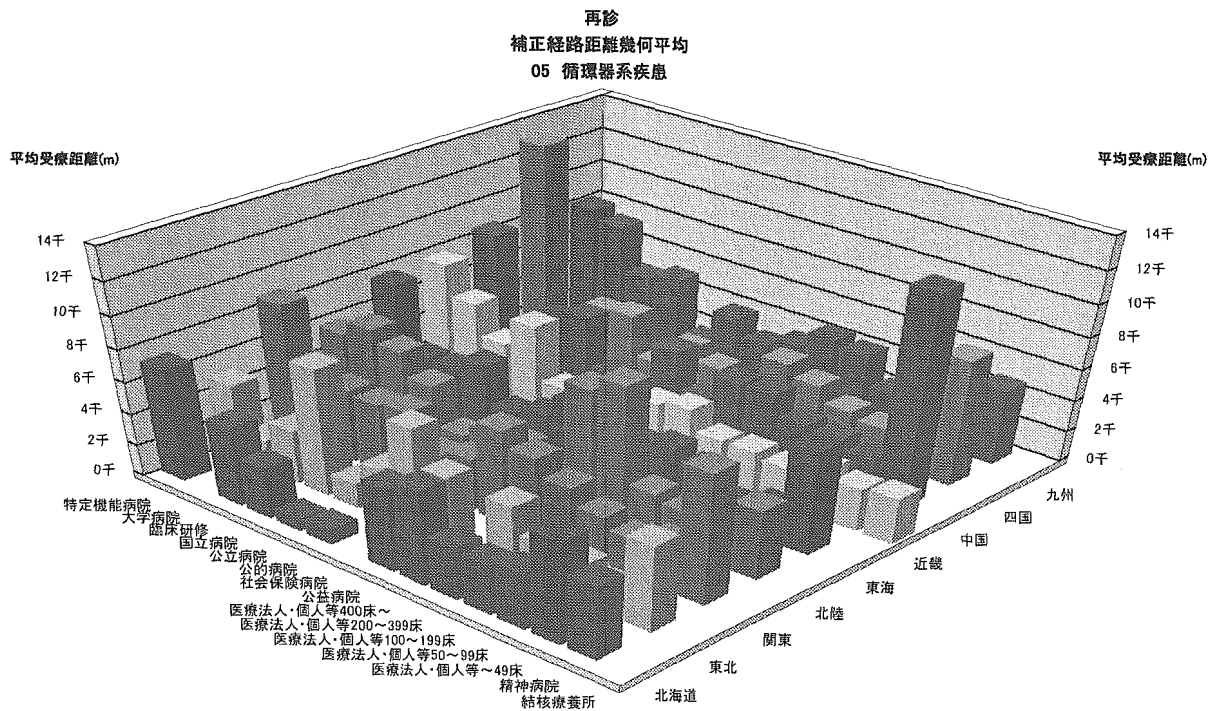
医療機関分類別地域別平均受療距離



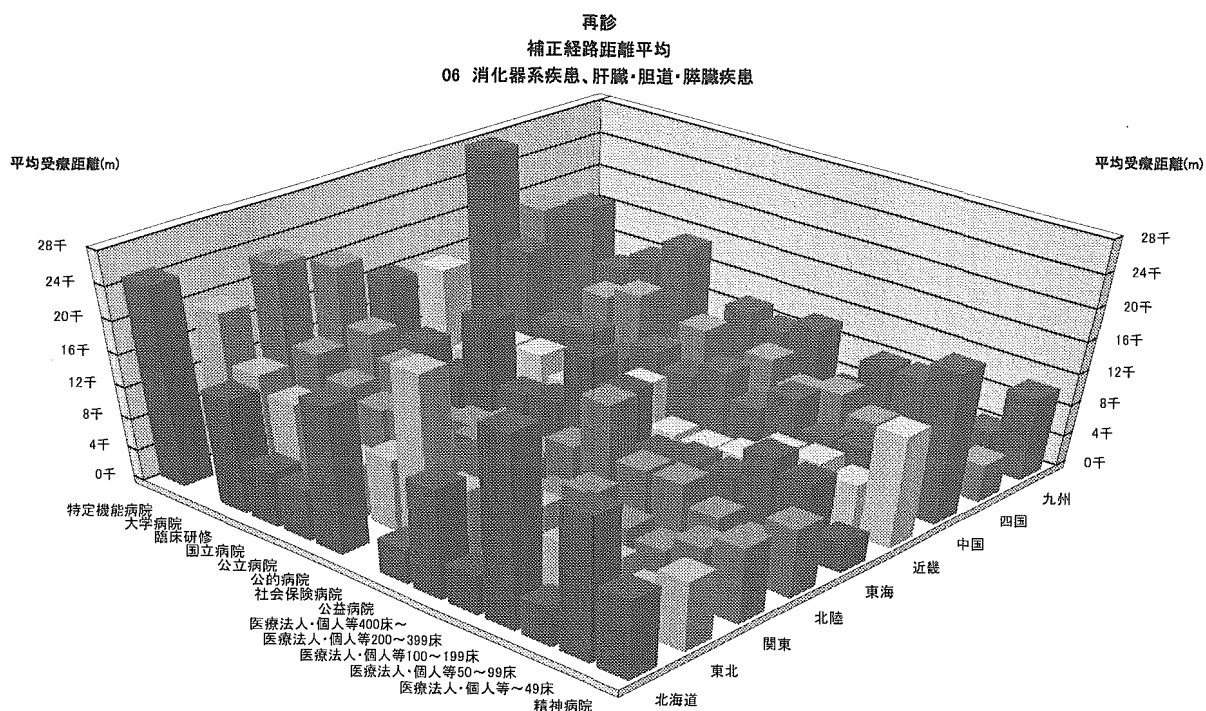
医療機関分類別地域別平均受療距離



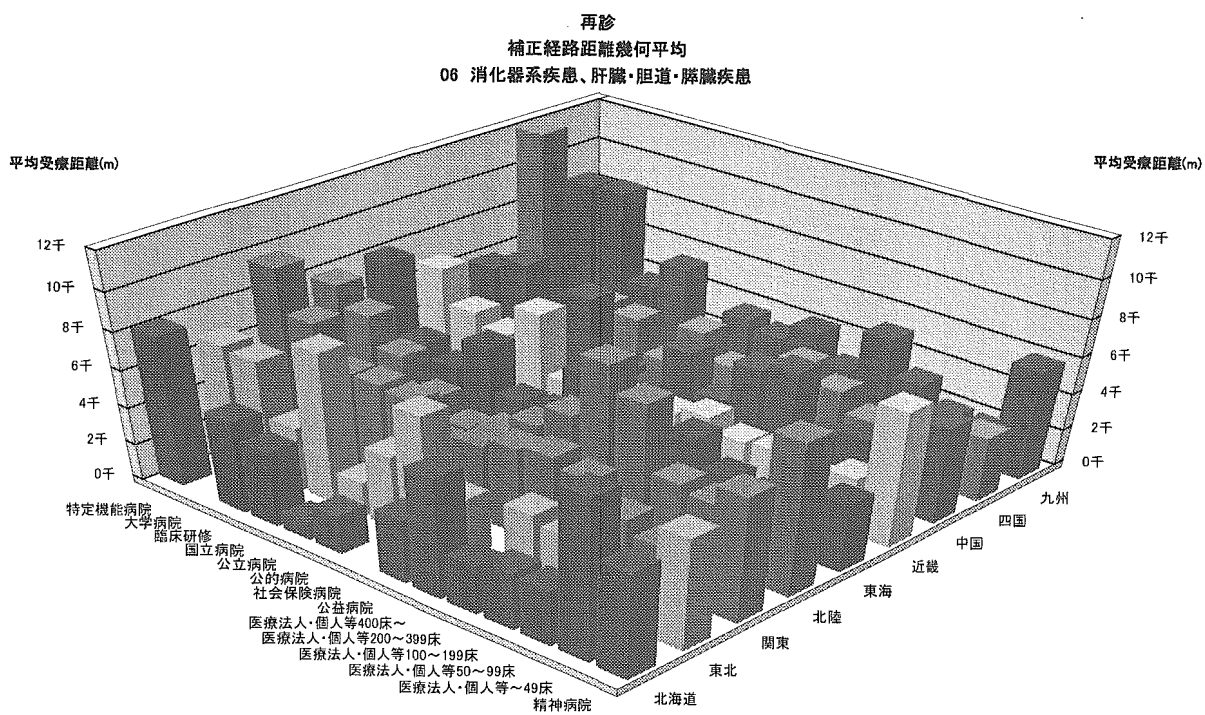
医療機関分類別地域別平均受療距離



医療機関分類別地域別平均受療距離



医療機関分類別地域別平均受療距離



(8)DPC 傷病名分類別外来医療費に関する検討

診療行為の視点からの外来機能の分析では、医療機関の機能分類、診療区分、DPC 傷病名分類に相当する疾病分類の3つのディメンジョンを組み合わせ、さらに個別医療機関間の相違も明らかとできる多次元集計を可視化することによって、これらの相互関係を把握するための基礎的資料を示した。

疾病分類はDPCの傷病分類のうちICD10中分類にはほぼ相当する部分を抽出した(表4)。

また、この分析により、これらの3つの要素が相互に関与して複雑な関連性を示すことが明らかとされた。例えば、医療機関の特性によって、提供される診療サービスの内容が異なっていることは以前から指摘されていたが、この関係は疾病によっても大きく異なることが明らかとなった。悪性腫瘍では、大病院で検査、画像診断の実施状況に多様性が大きいこと、循環器系疾患では検査の量が医療機関の特性によって大きく異なること、消化器系疾患では検査の多様性が認められるものの医療機関間の差異があまり大きくないこと、感染症等ではそのような関連性はあまり認められないことなどが示された。

表4. 傷病名一覧

社会診療行為別調査傷病名	DPCコード	DPC傷病名分類名称
結核	040160	呼吸器の結核
胃の悪性新生物	060020	胃の悪性腫瘍
結腸の悪性新生物	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	060040	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍
肝及び肝内胆管の悪性新生物	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)
気管、気管支及び肺の悪性新生物	040040	肺の悪性腫瘍
乳房の悪性新生物	090010	乳房の悪性腫瘍
子宮の悪性新生物	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍
悪性リンパ腫	130030	非ホジキンリンパ腫

パーキンソン病	010160	パーキンソン病
白内障	020110	白内障、水晶体の疾患
メニエール病	030400	前庭機能障害
くも膜下出血	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
脳内出血	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)
脳梗塞	010060	脳梗塞
動脈硬化(症)	050170	閉塞性動脈疾患
痔核	060245	内痔核
肺炎	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
急性気管支炎及び急性細気管支炎	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
慢性副鼻腔炎	030350	慢性副鼻腔炎
急性又は慢性と明記されない気管支炎	040090	下気道感染症(その他)
喘息	040100	喘息
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄
胃炎及び十二指腸炎	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)
アルコール性肝疾患	060280	アルコール性肝障害
慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	060290	慢性肝炎
肝硬変(アルコール性のものを除く)	060300	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)
皮膚及び皮下組織の感染症	080011	急性膿皮症
脊椎障害(脊椎症を含む)	070340	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)
椎間板障害	070350	椎間板変性、ヘルニア
腰椎症及び坐骨神経痛	071030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患
尿路結石症	110120	上部尿路結石症
前立腺肥大(症)	110200	前立腺肥大症
妊娠中毒症	120160	妊娠・分娩・産褥に合併する高血圧症等

妊娠及び胎児発育に関連する障害	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	160220	その他の異常所見
熱傷及び腐食	161000	熱傷、化学熱傷、凍傷・電撃傷
中毒	161070	薬物中毒

8-1. 主要 DPC 傷病名分類別診療区分別点数

○チャート様式

形式:	横棒積み上げグラフ
グループ:	DPC 傷病名分類(主要 38 傷病)
系列:	診療報酬診療大区分
ページ:	医療機関機能分類 x (1日当たり点数、1件当たり点数)

○視点

DPC 傷病名分類の違いによって外来診療の内容がどのように異なっているかを、診療区分別の医療資源の消費状況から分析するためのチャート。特に、1日当たりまたは1件当たりの診療区分別点数を傷病分類別に絶対値を含めて比較することで、医療機関の外来機能の差異による外来診療の違いを分析することができる。

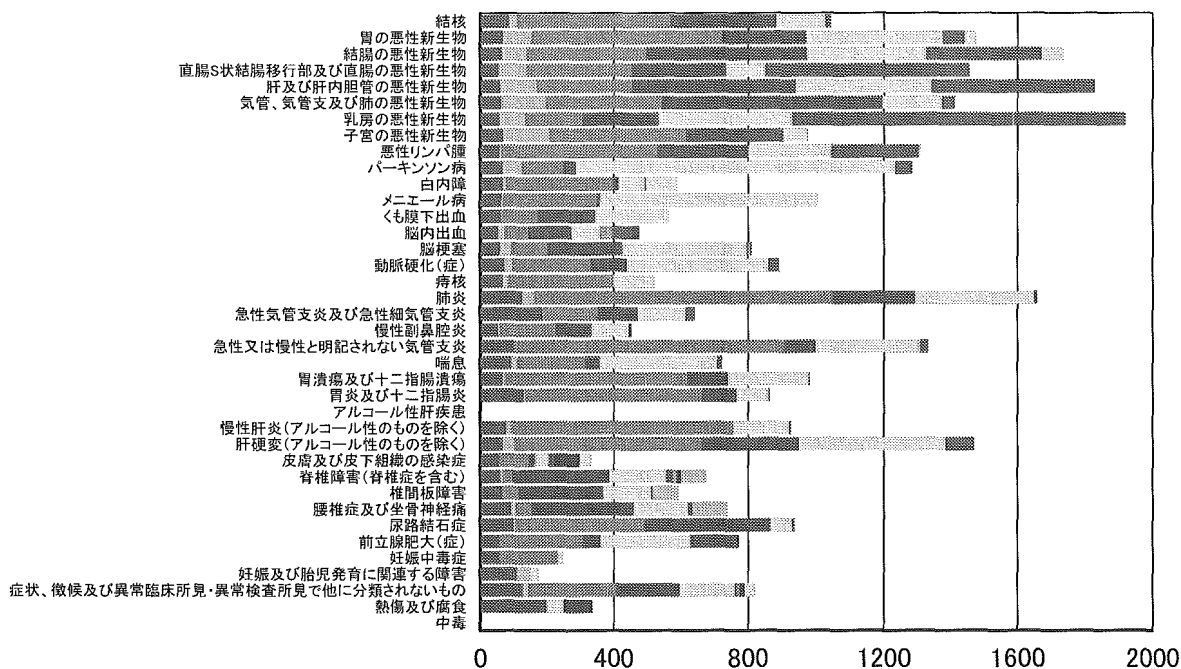
○分析結果の要点

- ・特定機能病院では悪性新生物関連の検査、画像診断、注射の点数が特に高い。
- ・大学病院では肺癌、くも膜下出血、尿路結石症等の一部の疾患で検査、投薬、画像診断の点数が非常に高くなっている。一部の病院の特殊性を反映している可能性がある。
- ・臨床研修病院では悪性新生物および肝疾患の点数が高いことが特徴となっている。
- ・国立病院では悪性リンパ腫の注射、白内障の手術等が非常に高く、一部の病院の特殊性が影響している可能性がある。
- ・公立病院では悪性新生物および肝硬変の投薬、画像診断の点数が高い傾向にある。
- ・公的病院では公立病院とほぼ同様の傾向を示している。
- ・社会保険病院では肺炎の在宅療養が高いのが特徴となっている。それ以外は、公立病院と同様である。
- ・公益病院では公立病院と同様の傾向を示している。
- ・民間大病院では子宮癌の画像診断、慢性肝炎の投薬が非常に高くなっている。
- ・民間中小病院では全般に1件当たり点数が 1500 点前後と低くなっている。
- ・診療所では初再診料、指導料の点数が高い傾向にある。

主要DPC傷病名分類別診療区分別点数

W点/W日

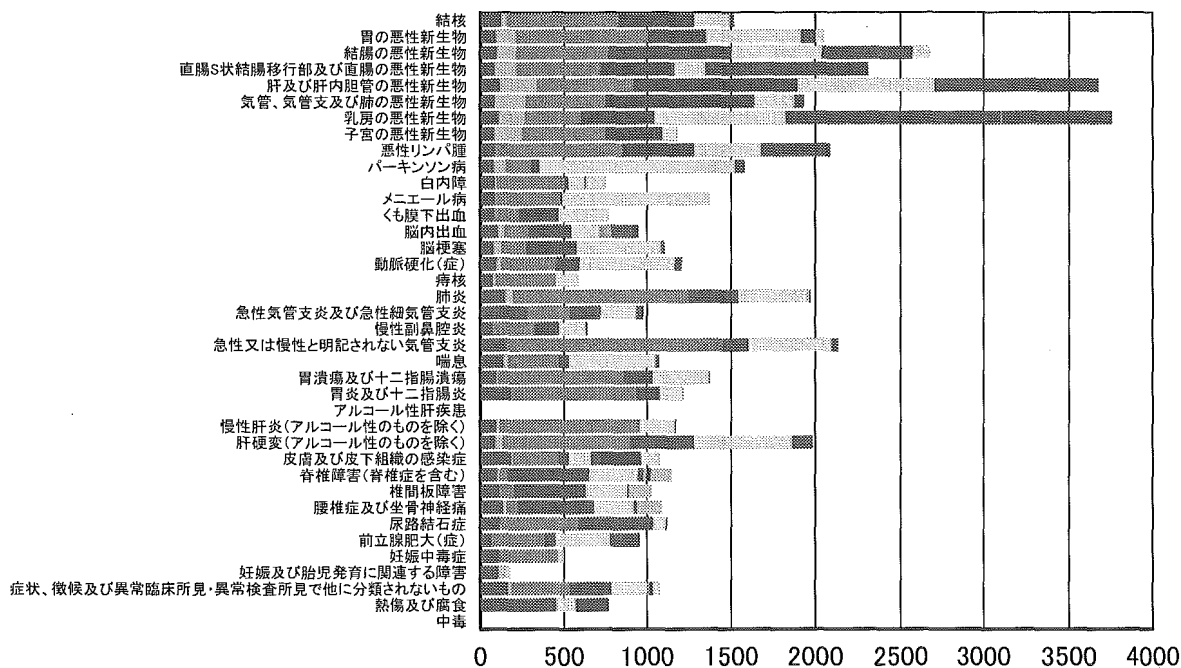
特定機能病院



主要DPC傷病名分類別診療区分別点数

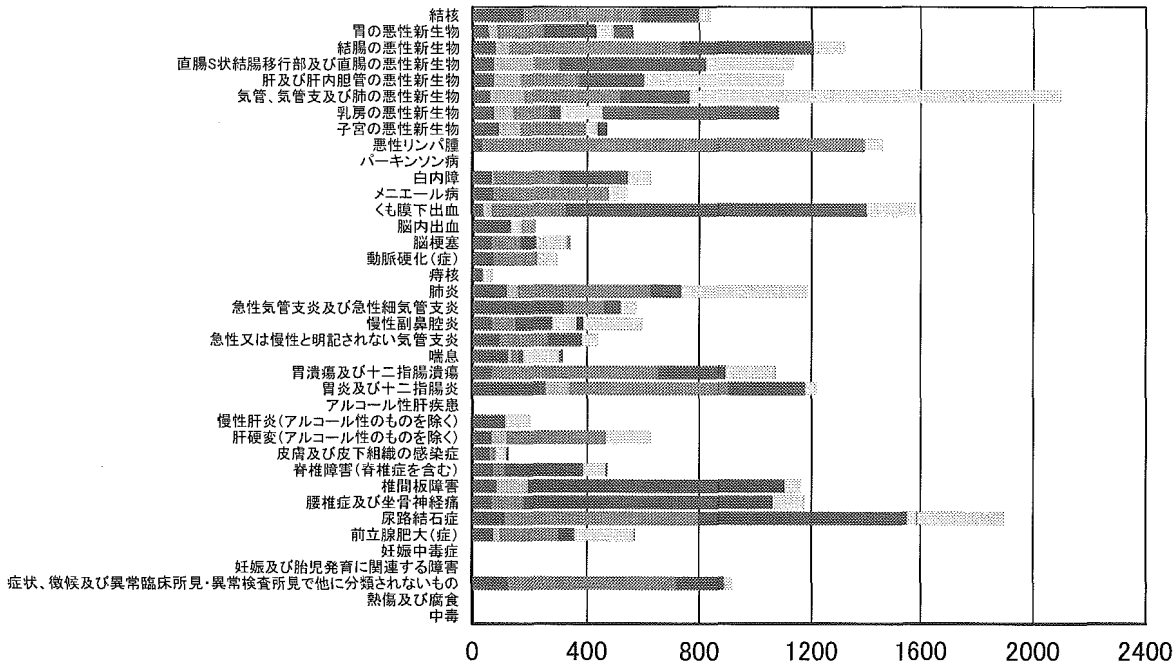
W点/W件

特定機能病院



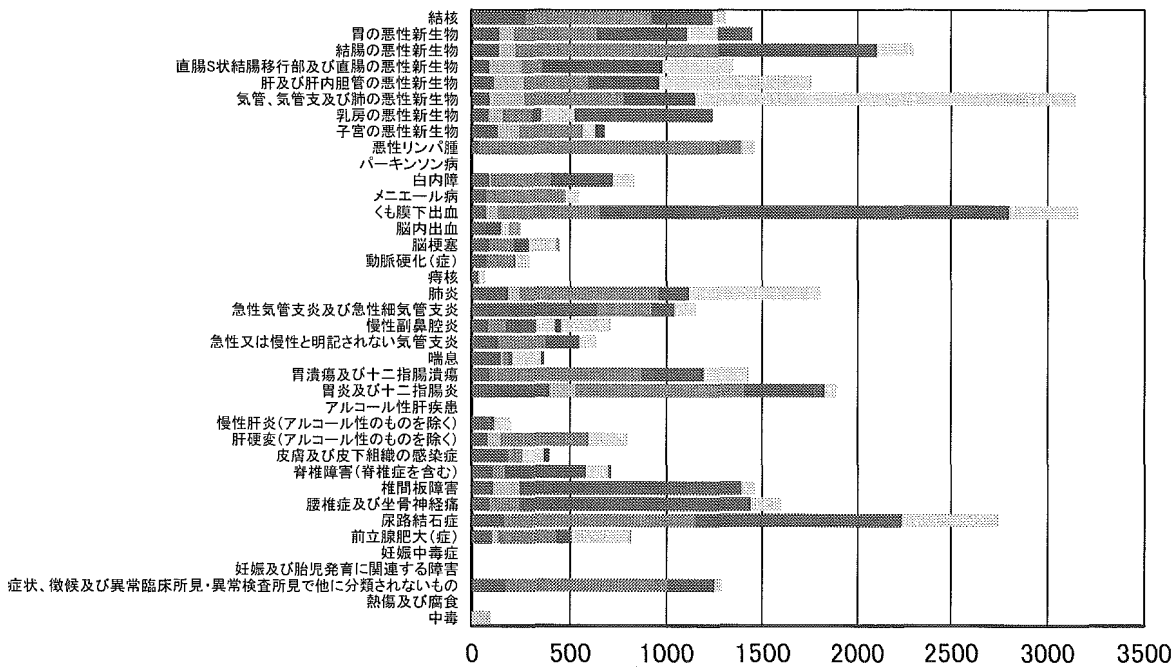
主要DPC傷病名分類別診療区別別点数

W点/W日
大学病院



主要DPC傷病名分類別診療区別別点数

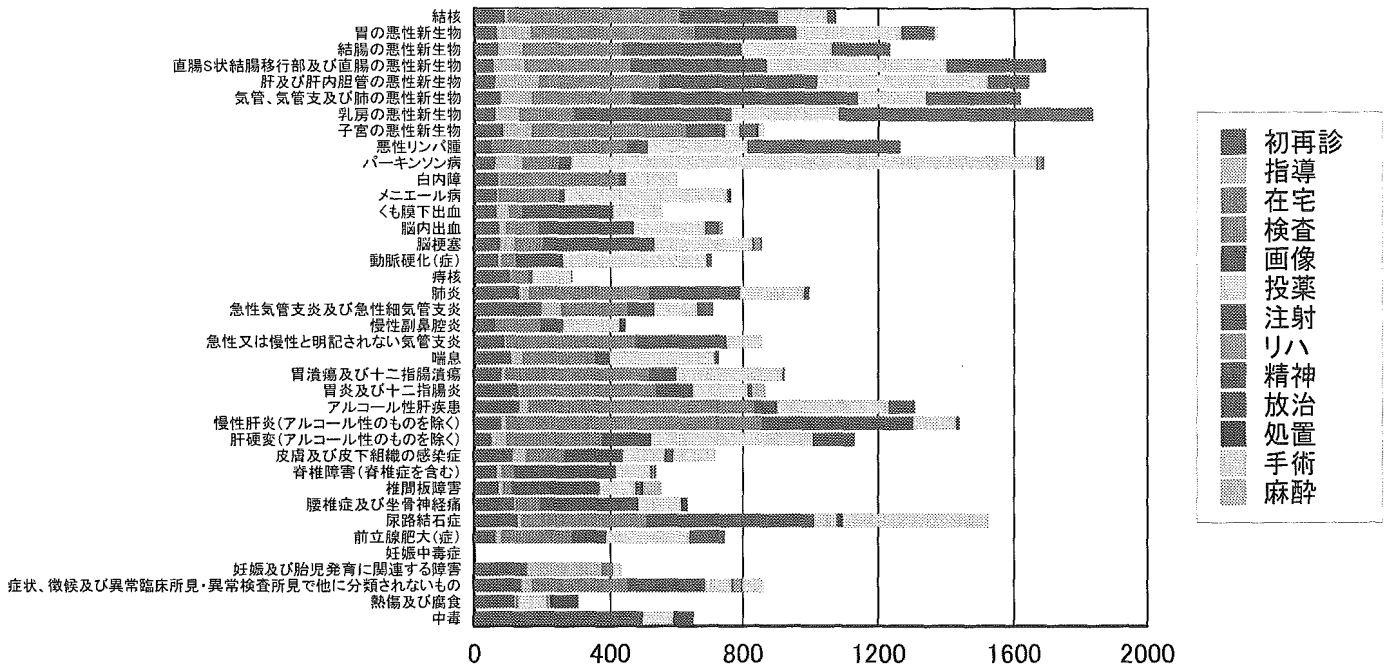
W点/W件
大学病院



主要DPC傷病名分類別診療区別別点数

W点/W日

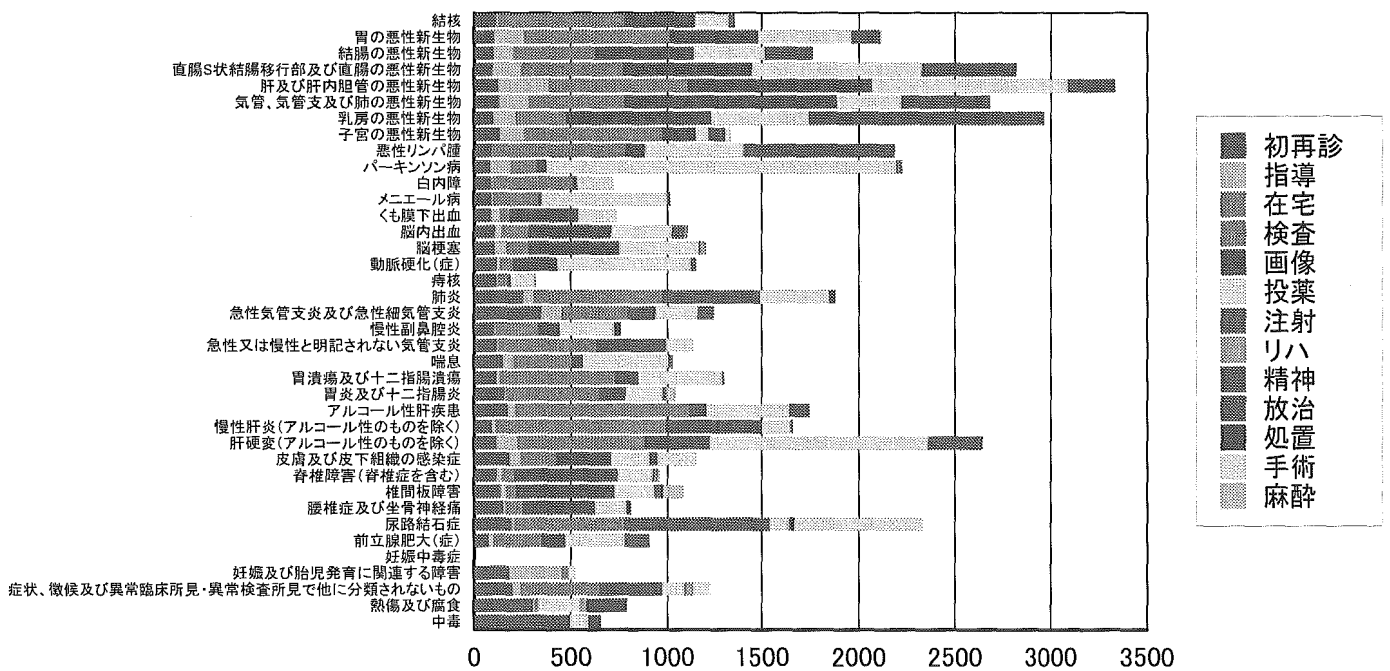
臨床研修



主要DPC傷病名分類別診療区別別点数

W点/W件

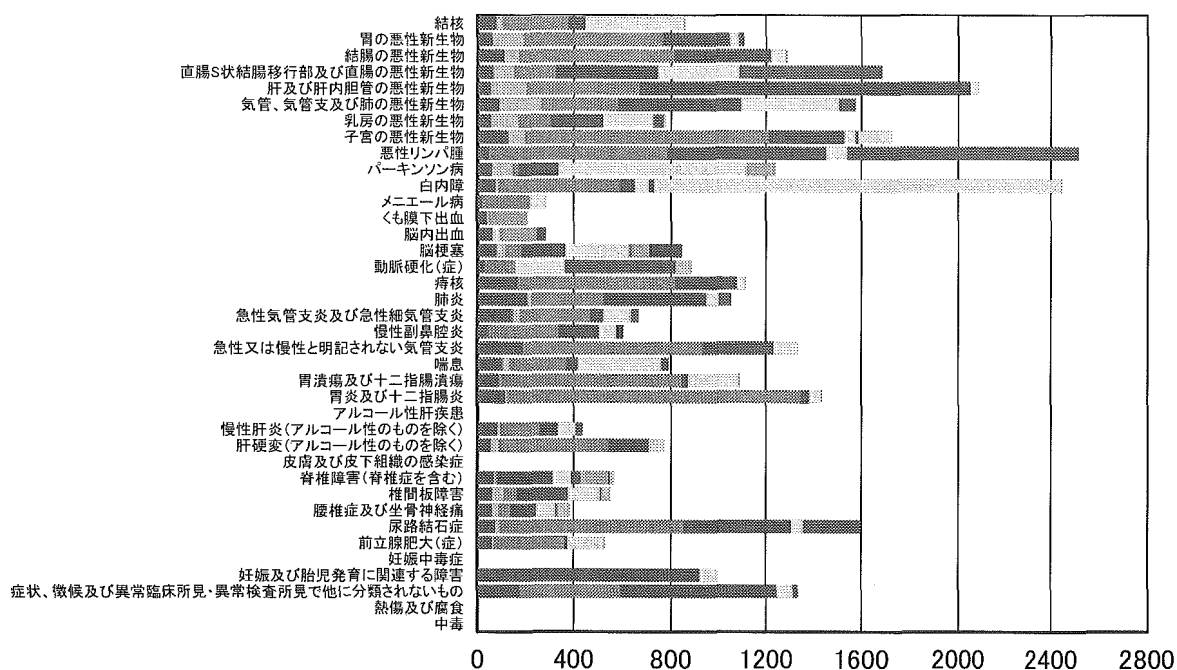
臨床研修



主要DPC傷病名分類別診療区分別点数

W点/W日

国立病院



主要DPC傷病名分類別診療区分別点数

W点/W件

国立病院

